

令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」が20名の受講生とともにスタート

令和8年4月17日（金）、盛岡市のプラザおでつにて、令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」の入講式を挙行了しました。

県内各地から30代から60代まで、県内各地から意欲あふれる20名の受講生を迎え、約10か月の研修が幕を開けました。

本研修は、多様な形で農業に関わりたい方を対象に、野菜栽培の基礎や農業機械の操作など実践的なスキルを習得するプログラムとして、当公社が令和2年度に開講したものです。

入講式に続き、岩手県の農業担い手担当者を講師に招き、岩手の農業をテーマに第1回研修の講義を実施しました。受講生は、本県農業の概要や県の農業施策、目指すべき姿についての説明を熱心に聞き入っていました。

オリエンテーションでは、チャレンジファーム事務局から、今後のカリキュラムや持参用具のほか、受講上の留意点を詳細に説明しました。

その後の自己紹介では、「小さい時から農業に憧れがあり、自給自足の生活を目指して本格的に野菜作りを学びたい」「親から継承した農地を活用すべく、農業を基礎から学びたい」といった具体的な抱負が語られ、会場は新しい挑戦への活気に包まれました。

次回の第2回研修は、4月24日（金）・25日（土）に雫石町南畑のコテージむらにて開催します。「農業の用語・単位」の講義に加え、実習では「農具の使い方」や「じゃがいもの植え付け」など、いよいよ土に触れる実践的な活動がスタートします。受講生の皆さんが農業の楽しさと奥深さを学び、それぞれの「農の夢」を達成できるよう全力でサポートしていきます。

次回の第2回研修は、4月24日（金）・25日（土）に雫石町南畑のコテージむらにて開催します。「農業の用語・単位」の講義に加え、実習では「農具の使い方」や「じゃがいもの植え付け」など、いよいよ土に触れる実践的な活動がスタートします。受講生の皆さんが農業の楽しさと奥深さを学び、それぞれの「農の夢」を達成できるよう全力でサポートしていきます。



入講式の様子



第1回研修：講義「いわての農業」の様子



真剣な眼差しで講義を聞く受講生



資料を見て研修日程を確認する受講生